



ピッキーのあしあと

綾瀬市立図書館パスファインダー

2024年3月 発行

綾瀬市立図書館

住所：〒252-1107 綾瀬市深谷中 1-3-1

電話：0467-77-8191

ホームページ：https://www.ayaselib.jp/

SDGs：「海の豊かさ」について調べる

SDGs…2016年から2030年までの15年間で人類が達成すべき17個の目標をあらわす言葉

目標の14番目にかかげられているのは「海の豊かさを守ろう」。

地球の面積の7割は海。そして海に囲まれた島国に住むわたしたち日本人は、昔から交通手段や食料を入手する場として、海からたくさんのめぐみを受けてきました。

今海に何が起きているのか。これから先も海と人間が良い関係を保つためには、どのようにしていけば良いのか、図書館で調べてみましょう。

キーワードを見つけよう

図書館にある本は、検索機（OPACといいます）に「キーワード」を入力して探することができます。いくつかの「キーワード」を組み合わせることで、より探しやすくなります。

SDGs 漁業 水産 資源

ぎよかいるい 魚介類 ひがた 干潟 かいようおせん 海洋汚染

気候変動 プラスチックゴミ

1 「SDGs」ってどういう意味だろう

『こども SDGs ブック』

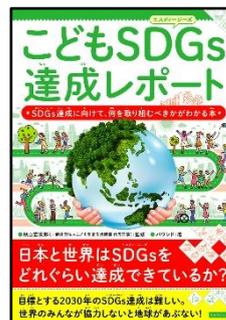
ふるさわ 古沢 ころゆう 広祐 / 監修 かんしゅう 金の星社 (333)



SDGs って子どもにも関係あるの？世界がかかえる課題を自分のこととして考えるための質問、すぐに取り組めるアイデアなども掲載しています。

『こども SDGs 達成レポート』

あきやま 秋山 こうじろう 宏次郎 / 監修 ちよ バウンド / 著 カンゼン (333)



日本と世界の目標の達成状況、日本が達成できていない指標について解説しています。おうちの人といっしょにすぐにできる取り組みも紹介します。

2 海ではどのような問題が起きているのだろう

海が汚染されることで、どのような影響があるのかを知ろう



『地球が危ない! プラスチックごみ』(全3巻)

ことうんしゃ ちようぶんしゃ
幸運社/編 汐文社 (519)

第1巻『海洋プラスチック～魚の量をこえる!?!』では、世界中の人たちに使われ、その後、半永久的に消えないゴミとなるプラスチックについて、海に流れ出たあとに、そこに住む生き物たちや、わたしたちの暮らしにどんな影響を与えているのか、写真や図で解説します。



『海のプラスチックごみ調べ大事典』

ほさか なおき じゆんぼうしゃ
保坂 直紀/著 旬報社 (519)

安くてじょうぶなプラスチックは、毎日の暮らしに役立つ便利なものです。しかし、きちんと処理をされないと、大量に海に流れこみ海を汚してしまいます。この本ではプラスチックごみを出来るだけ減らし、海の環境を守っていく方法を知ることができます。



『海のごごれは、みんなのごごれ 海洋ごみ問題を考えよう!』(全2巻)

なかじま りょうた きょういっくげき
中嶋 亮太/監修 教育画劇 (519)

第1巻『海洋ごみ問題について知ろう』では、人間の身勝手な行動によって、ゴミ捨て場と化している海の現状を取り上げ、わたしたちが「きれいな海」を取りもどすためのさまざまな問題への向き合い方を考えます。

3 「水」について考えてみよう

水道水がとどくまでの仕組み、使った水のゆくえ、考えたことある?

『いま「水」を考える』(全3巻)

おき たいかん いわさきしよてん
沖 大幹/監修 岩崎書店 (517)



第1巻『水道水がとどくまで』では、海→空→雲→雨→川といった水の循環や、川の水がきれい安全な水になり、水道のじゃ口にとどくまでなどについて説明します。

『水のひみつ大研究』(全5巻)

にしじま わたる
西嶋 渉/監修 ポプラ社 (517)



第2巻『使った水のゆくえを追え!』では、毎日の生活で使用し汚れた水が海に流されるまでに、どんな場所どのように処理をされるのか、図を使ってくわしく解説します。

4 日本ならではの「海」との関わりを知ろう

漁業



『めざせ！持続可能な農林水産業』(全3巻)

なかの あきまさ おおつきしよてん
中野 明正／監修 大月書店 (612)

第2巻『おいしい魚が食べつづけられる水産業へ』では、水産業の大切さや魅力^{みりよく}を漁師さんの1日を通して紹介。水産業を取り巻く問題^まのほか、将来^{しょうらい}に向けて限られた水産資源^{しげん}を生かすための取組も分かります。



『世界にはばたけ！明日の農業・未来の漁業』(全3巻)

教育画劇 (610)

第3巻『大ヒット！海産物』では、大間まぐろ、伊勢海老^{いせ}といった日本全国の海産物を取り上げ、「歴史やおいしさ」「ブランドカとひみつ」などを解説。明日^{あした}に向かって進化し続ける日本の漁業の姿^{すがた}を見てみましょう。

ほかにもあります ● ● ● ● ● ● ● ●

『スマート水産業の大研究』^{わだ まさあき}和田 雅昭／監修 PHP 研究所 (660)

食



『おいしい魚ずかん』

うえだ かつひこ ^{ちいくけんきゅうじょ}
上田 勝彦／監修 WILL こども知育研究所／編 アクアマリンふくしま／協力
金の星社 (664)

海のしくみや魚についてもっと理解し、魚とのつきあい方を学びましょう。魚の数に合わせて食べる種類や量を工夫することができたなら、これからも人間と魚はともに暮らしていけるはずです。



『海からいただく日本のおかず』(全3巻)

あべ ひでき ^{だいにほんすいさんかいぎょしょくふきゅうすいしん}
阿部 秀樹／写真・文 大日本水産会魚食普及推進センター／監修 ^{かいせいしゃ} 偕成社 (667)

第1巻は『干物』。日本人は昔から工夫をこらして、海からとれる魚介類^{ほそん}を保存加工してきました。現在も日常的に食べられている干物^{とくちょう}の特徴や歴史のほか、どのような加工がされているかなどが分かります。

ほかにもあります ● ● ● ● ● ● ● ●

『おいしく！きれいに！魚の食べかたずかん』(全3巻) ^{おくら ともこ}小倉 朋子／監修 汐文社 (596)

ピッキーのあしあと SDGs:「海の豊かさ」について調べる

綾瀬市立図書館 2024.03

文化・物流

『和の文化をうけつぐ日本の伝統もよう』 (全3巻) 小山 弓弦葉 / 監修 汐文社 (727)

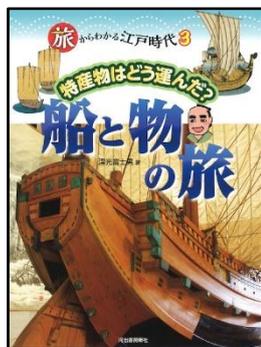


第2巻では『風景・ものもよう』を紹介。打ち寄せる様子を表した「波」。海の風景にかかせない「舟・橋」など、日本人の身近にあり、昔から受けつがれてきた海に関するもようの由来・意味が分かります。

『ジュニア版もっと知りたい世界の美術』 (全8巻) 金子 信久 / 監修 東京美術 (721)



第1巻は『北斎と広重』。江戸時代を代表する浮世絵師である葛飾北斎と歌川広重。ふたりとも海をテーマにしたたくさん作品を残しました。クジラ漁の様子や魚売りの姿も描かれていますよ。



『旅からわかる江戸時代』(全3巻) 深光 富士男 / 著 河出書房新社 (210)

第3巻は『特産物はどう運んだ？船と物の旅』。江戸時代は、船が物流の主役でした。「海ではどんな船で運んだの?」「海の旅は安全だったの?」など、活気ある江戸時代の海や港の風景や、どのような荷物がどうやって運ばれたのかが、ビジュアルたっぷりに解説されています。

6 インターネットで調べてみよう(2024年3月現在)

- ・ 『EduTown 未来を担う子どもたちと、それをはぐぐむ先生のための教育総合サイト』
<https://www.edutown.jp>
- ・ 『小学生のための環境リサイクル学習ホームページ』
<http://www.cjc.or.jp/j-school/>

◆紹介している本のタイトルのあとにあるカッコの数字は、「請求記号」といいます。図書館の本は、この数字の順番で本だなに並んでいて、数字は本の背中に書いてあります。本を探す手がかりにしましょう。

◆調べた本のタイトルやウェブサイトの名前は必ず記録しましょう。

◆インターネットに書かれた情報は、必ずしも正しいとは限りません。そのページを作った人がだれか分からないときは、ほかのウェブサイトや本でも同じことが書かれているか、よく確かめましょう。

◆うまく本が見つからないときは、図書館司書に質問してください。調べたいことがのっている本を探すお手伝いをします。